

体験を通じて学ぶ子どもの姿

「スポーツの秋」、「食欲の秋」、「芸術の秋」など、子ども達の体験活動や行事の実施には絶好の季節。子どもも職員も忙しいのですが、机上では学ぶことができない体験活動に各学年が取り組みました。下の写真はその一例で、2年生の町探検や3・4年生のサツマイモ収穫、4年植樹祭と音楽会などがありました。どの学年も協力し合い、みんなで学び・楽しむ姿を見ることができて良かったです。

「百聞は一見に如かず。」と言います。でも、この言葉には続きがあります。「百見は一考に如かず。百考は一行に如かず。百行は一果（効）に如かず。百果（効）は一幸に如かず。」『見るだけでなく、考え、行動に移し、成果を出すことが幸せにつながる。』という意味です。このような体験を通じて、考え、行動して学びを深める児童を育てたいと考えています。

3年海渡り



4年見学旅行



5年集団宿泊教室



3者で協議～スマホのルール～

スマートフォンの長時間使用による子どもの健康被害や、寝不足などの生活状況は、今や全国的な課題です。また、SNSを介したいじめや犯罪被害も全国的に増加しています。本校児童の場合、県平均と比べてスマホの所持率は高いものの、家庭のルール設定率は低い状況です。

今回、子どもと親、教師の3者の代表で「津奈木小のスマホルール」を作るワークショップを行います。決まったことは12月の学習成果発表会で報告します。初めての取組ですが楽しみです。

津奈木小学校は、令和7年、創立150周年を迎えます。来年11月頃、記念イベントを開催するために、実行委員会を立ち上げて検討を始めます。今後、町民の皆様にご協力をお願いすることもあると思います。ご協力をお願いします。

【後記】

11月21日の道徳教育研究会。多くの参観者がある中、3年、5年1組の子ども達は堂々と意見を発表しました。日頃からの積み上げの成果を十分に発表してくれました。

津奈木小学校だより 11月号 令和6年11月29日

津奈木の風

校長 船場 孝洋